式辞

　五十七回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして、三年間本校へのご理解とご協力を賜りました保護者の皆様、誠におめでとうございます。

卒業は新しいスタートの始まりです。本校の卒業生がこれから新しい歩みを始めるにあたり、衆議院議員葉梨康弘様の秘書葉梨徹様をはじめ多くの来賓の方々、並びに愛国学園理事長の織田奈美様をはじめ、学園本部から多くの先生方のご臨席を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

　　皆さんは、本校コース制の三期生にあたり、コース制の学びを充実させる取り組みを続けてきました。それぞれの生徒がコース制のカリキュラムをよく理解して、積極的に取り組むことができたおかげで、コース制の目標がほぼ達成されたと思います。

今年の一月に行った皆さんのコース別研究発表会では、予想を超える高いレベルの発表が数多くありました。

　保育福祉コースの発表会では、手作り絵本や紙芝居の発表、手袋・エプロンシアターやピアノ演奏のほかに、手話の紹介や高齢者との関わり方など、様々なテーマをそれぞれの生徒が深堀しながら堂々とした態度で発表してくれました。それも、一方的な発表ではなく参加者を巻き込むとてもユニークで楽しい発表会でした。この経験はそれぞれの生徒にとって、卒業後の進路にとても役立つものであることはもちろん、本校のコース制で学んだ大きな証になるものです。

 進学教養コースでは、二年次に引き続き探究発表会を行い、前年のテーマをより深化させ新たな観点から探究活動をした生徒や新しいテーマを設定して取り組んだ生徒などバリエーション豊かで聴衆に「なるほど」「そうなのか」「もっと知りたい」などと興味関心を抱かせる発表がいくつもありました。

 発表時に使用したパワーポイントも見やすくそれぞれの生徒の工夫が随所に生かされていました。保育福祉コースとは違い、自分の進路と直接関係するテーマではありませんが、将来自分が直面する解決すべき課題や問題が生じた場合などに対応するための有効なアプローチを探究活動で学ぶことができたことはとても有意義なことだと思います。

　 三年間、皆さんと様々な形で接してきましたが、皆さんの学年の特徴は「団結力」と周りへの「気配り力」だと思います。誰かが苦しいときには他人事ではなく、その人を気遣いながら寄り添うことができる学年集団でした。また、誰かが褒められたときには自分事のように一緒に喜べる学年集団でした。特に、龍ヶ崎市主催の高校生政策アイデアコンテストに出場した三人の同級生が最優秀賞に輝いたとき、学年みんなで祝福していた姿は今でも鮮明に覚えています。

 龍ケ崎高校から新しい歩みを始める皆さんには、自分に誇りをもって自分らしい未来を創り出していってほしいと強く望んでいます。

　校訓の「親切正直」、毎日復唱した「生活自戒」そしてモットーの「いつでも誰でも主人公」は、これからの皆さんの人生においても大きな支えになると信じています。皆さんの未来がこれまで以上に光輝くものになるよう心から願って式辞といたします。

　　令和６年３月５日　愛国学園大学附属龍ケ崎高等学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　倉持　正男